

モデル	標準（経済関係）型（例示：地域調査機関への就職をめざす学生の履修モデル）
想定される進路	シンクタンクや企業の社員，行政職員
養成する人材像	学類や学部卒者で，経済関係の専門的研究と地域課題をバランスよく学び，高度な地域創造力を修得して，行政職員や企業社員で活躍できる人材を養成する。
授与する学位	修士（地域創造学）＜分野：経済学関係＞

学期	科目区分	科目名	単位数	学期で修得する知識や技能
1年 前期	専攻共通科目	先端地域創造講義	2	1年前期は，専門基礎科目の学修を通じて，地域創造学（経済学分野）の基礎を学ぶ。 修士論文のテーマを明確化し，地域フィールドワークを通じて，地域課題解決の学術的な方法を学ぶ
	専攻共通科目	論文指導Ⅰ	2	
	専攻共通科目	地域フィールドワーク	2	
	専門基礎科目	社会保障特論	2	
	専門基礎科目	ミクロ経済学特論	2	
	専門基礎科目	地域経済学特論	2	
1年 後期	専攻共通科目	論文指導Ⅱ	2	1年後期は，専門展開科目の学修を通じて，地域創造学（経済学分野）を専門的・学際的に学ぶ。 論文指導・地域フィールドワークを通じて，論文研究の方法を明確化する。 課題型インターンシップ（短期）を通じて，地域において地域課題解決の方法を学ぶ。
	専攻共通科目	地域フィールドワーク	2	
	専攻共通科目	課題型インターンシップ（短期）	2	
	専門基礎科目	北陸地域経済学講義	2	
	専門展開科目	地方財政特論	2	
	専門展開科目	社会保障システム特論	2	
2年 前期	専攻共通科目	論文指導Ⅲ	2	2年前期は，課題研究科目の学修を通じて，研究課題を複数のアプローチから検討する。修士論文の作成を本格化する。
	課題研究科目	社会福祉調査研究	2	
	他専攻科目（経済学専攻）	経済統計学特論 a	2	
2年 後期	専攻共通科目	論文指導Ⅳ	2	2年後期は，修士論文の作成を通じて，2年間の学修を通じた学術的なアプローチから，主体的に総合的・実践的な地域課題解決力を養う。
計			32	